

# 八清親和会 自治会役員の一とり言

令和4年5月5日

No33

八清親和会 副会長

吉田祐治

## 八清親和会 会報発行が110回になりました！

6年前まで、四無い尽くしの自治会が、如何にして会報の今の地位を築いたか！

また、多くの会員が見ている、手ごたえを改めて感じた！

八清親和会の四つの無い無い尽くしとは、

1. 自治会案内が無い
2. 自治会会報が無い
3. 自治会のホームページが無い
4. 自治会の概要・組織・歩み等の内部資料が無い

であった。

筆者が副会長を引き受けた8年前までは、

“八清親和会は、どこにある？”

“八清親和会は、どんな自治会？”

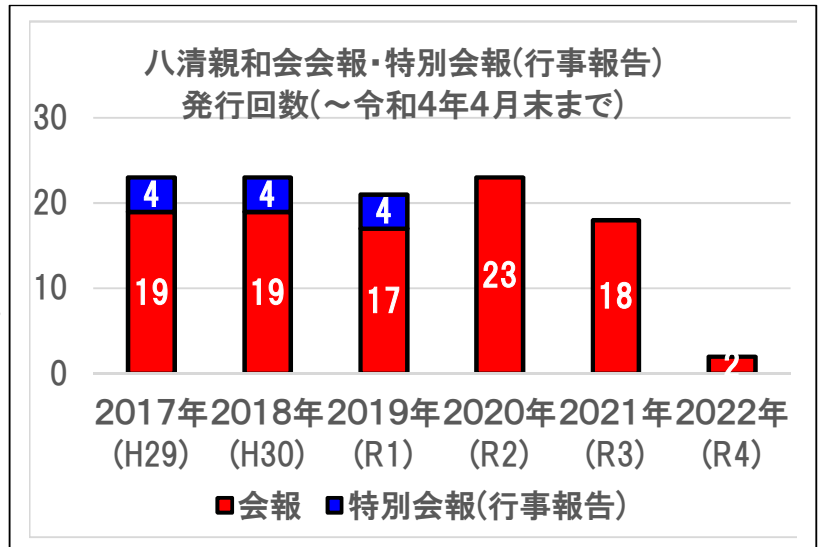
と、聞かれても、十分説明できなかつたり、説明できる資料が無い、見せるものが無いなど、むなしい思いをしたことを今でも教訓にしている。

このような無い無い尽くしの自治会が、如何に、今のような会員が見てくれる会報になったかを振り返ると共に、再発行を機にさらなる向上を目指すのである。

まずは、「情報発信の脆弱」や「自治会に町内全世帯が加入していた時代から、今や、入る、入らないかは、世帯主が決める任意加入の時代」の変化により、自治会も内向きの活動から外に発信するPR時代であることが分かった。このような、自治会を取り巻く環境変化に対応できる、あるいは、即した自治会を目指し、自治会には何のために？ どんなものが必要か？ を聞き調べた結果、当時は、以下の5つに集約された。

1. 転入してきた未加入者や外部の人から、自治会「八清親和会」はどのような自治会か尋ねられたり、知りたい」と言われても、見せたり、渡せる自治会案内（紹介）」が無い、また、まとまった内部資料ないため、三役始め常任委員・組長も自治会の概要や、特長を説明できない。
2. 自治会に入会するにしても、特に他地域から転入してきた住民は、以前住んでいた自治会と比較をするため、資料を見せてほしい、あるいは、八清親和会が実際に行っている行事や活動を見てから、加入を決める住民が多い事も分かった。  
長い場合は、接触してから加入迄1ケ年掛かることもあった。
3. 会報が無かったため、末端会員まで情報が伝わらず、予定や行事実施報告等の必要なことを知らされず、また、周知もできていなかった。したがって、多くの会員から“どんな活動をしているのか分からない”と言う、冷めた回答が返ってきた。  
このため、自治会に入っているが行事や活動に無関心であり、参加者の減少やマンネリ化の一原因にもなっていた。さらに、退会者の増加原因でもあった。
4. 会員の中には、自営業（商店）や仕事・パートの関係で、休日お店や出勤により、行事・活動に出たくても参加できない。また、高齢や身体障害により会場まで行けない会員も多数いた。

しかし、この会員のために、あるいはこの会員を意識した情報提供を行っていなかった。即ち、蚊帳の外であり、自治会の楽しさを享受できないため、退会して行った人もいた。



5. 最近の若い会員や現職世代の会員は、デジタル化によりペーパーを読まない・見ないため、この会員に向けた情報提供のデジタル化が急務であった。

その結果、八清親和会としての、自治会に必要な情報提供や情報伝達手段は、

- ◇ 八清親和会会報
  - ◇ 八清親和会ホームページ
  - ◇ 八清親和会案内（紹介）
  - ◇ 内部資料のデジタル化・集中管理、保管・保存
- であった。

そして、平成 26 年（2014 年）」から自治会の改善を始め、優先順位を付け、まずは八清親和会案内（紹介）作成のため、原稿資料集め・作成を 1 年掛けて行い、平成 28 年（2016 年）に自治会案内（紹介）を完成させた。これらの資料を土台にして、平成 28 年（2016 年）12 月より試行的に自治会報「八清親和会トピックス」を発行した。月 1~2 回のペースで発行した会報は回を重ねるごとに改善し、且つ内容を充実して発行してきた結果、令和 4 年第 2 号までの発行累計は、110 回（110 号）となった。

また、同年 7 月には八清親和会のホームページを開設しブログ投稿をスタートさせた。これも自治会案内（紹介）の資料により、ホームページの顔とも言うべき、トップページの自治会紹介画面の作成に役立った。

会報の発行当初は、以下のように掲載記事も少なく、簡単なものでした。

第 1 号

累計 50 号

累計 110 号



また、発行当初は、会員の皆さんが果たして見てくれるか気になる 1 年でもあった。

- そして、会報の作成基本は、
- ・ 会員のための身近な情報提供
  - ・ 会員の目線に立った会報づくり
  - ・ 会員が必要とする会報

を、目指し「会員の声を聞き、会員の声を拾い（改善）」どんな些細なことも会報に反映させた結果、回覧板を良く見るようになった（今までは自治体のものばかりでスルーすることが多かった）、また、このため回覧の回る速度が遅くなった。行事会場では、会報を見て同居のお年寄りから、「次の行事に是非連れてって」言われ連れて来ました。あるいは載っている写真がほしい、会報のコピーがほしいという要請や、会員が撮った写真の提供、資料の提供等もあり、徐々に会員が見ている手ごたえを感じた。

近年は、会員から掲載記事の要望もあり、シリーズとして掲載を始めた“八清住宅地域や八清親和会を見つめ直す『わが街・わが自治会の今・昔』”は、これに答えたものであり、八清住宅完成当時からの会員が少なくなった今、転入してきた住民や 2・3 世代の会員に好評であり、また、四大行事（お花見会・夏祭り・運動会・餅つき大会）も、これだけを掲載した写真特集の特

別号発行も、会員からの要望であり、八清親和会の四行事を「行事活動報告」として発行している。

そして、昨年9月から4ヶ月基礎疾患で入院し退院後、街でお会いする会員の方々から「会報は止めてしまったのか」「再開はしないのか」「会報を楽しみにしていた」、あるいは「今の回覧板は自治体のものばかりでつまらない」等の声を聞き、会報を如何に多くの会員が見ているか、改めて手ごたえを感じた。

この要望に応えるため、4月末より会報「八清親和会トピックス」を再開したのである。

そして、今回累計110号の発行に至ったのである。

会報作成発行で常に思うことは、会報の評価、内容の良し悪しは会員が行うことであり、役員・担当がいくら立派な、良いものを作成しても、会員が評価しなければ、その会報は成功したとは言えない事も分かった。

会員が興味を持ち、会報を読み・見る記事、内容は会報作成基本と同じである。

1. 会員のための身近な情報提供：
  - ・即ち、自治会に関係する、あるいは関する情報
  - ・自治会のある地域に関係する、あるいは関する情報
  - ・自治会活動の今、今後の予定情報
2. 会員の目線に立った会報づくり：
  - ・自治会会員は、若い世代から現職世代、定年退職、あるいは第一線から退いた高齢者等の幅広い年齢層、世帯会員で構成されている。このため会員が必要とする会報は、解かりやすく、できるだけ写真、グラフ・図、カラー等を使った読む会報から、見る会報へ、また興味を引く会報づくりである
3. 会員が必要とする会報：
  - ・自治会活動・情報が全会員まで伝わる
  - ・数か月に1回の発行や、古新聞のような数か月前の行事・活動記事には興味が無い、会員に伝えるならば遅くても1ヶ月以内
  - ・全会員に配布する必要は無い、回覧で充分必要の場合は回覧後組長からもらうか、発行元にコピーを依頼すれば済むこと  
全会員に配布しても、ほとんどは見たら「ゴミ箱」行きであるため、費用の無駄使いである

会報を成功させる作成者の基本は、

1. 掲載する記事の情報や材料が、会報担当（作成者）に自動的に集まる仕組みづくり
2. 会長との情報の共有
3. 最低、月1回は発行する
4. 良い記事や拘った記事を作ろうとはせずに、如何にスピーディに、タイミングを逃さず効率よく、自然体で作成するか
5. 紙面はできるだけ、写真、グラフ・図を使い「読む」から「見る」紙面づくりに心がける
6. 印刷する必要は無い、手作りのカラーコピーで充分、回覧のため、組（34部）単位の配布により経費の大幅削減
7. 会報は継続が大事である、担当が1～2年で変わるようではだめだ、数年単位で活動しなければ良い会報はできない
8. できるだけ会員からの「声を聞き」「声を拾い（改善）」できるものから取り入れ、変えていく積み重ねにより、会員が身近な会報になる

である。

以上が、会報発行累計110回（110号）と、会員に読まれている手ごたえを感じた経緯である。

そして必ず成功する。

あなたの自治会はいかがですか、会員の声を聞いていますか、評価を受けていますか、あるいは、担当者や作成者の自己満足に終わっていませんか。

参考までに、昭島市の自治連加入自治会の「会報を発行している自治会数」と「1年間の発行回数」のデータがありますので紹介する。

このデータは、前々回（4年前までの）の自治連会長を務めた宮田氏の時代、平成29年（2017年）4月～5月に自治連初めての「自治会加入状況等調査（自治会の実態調査アンケート）」実施した。この時、自治会会報の「発行自治会数」と「発行回数」の調査も行った、その結果である。

現在はどのようになっているか分からないが、当時は自治会 96自治会中、会報発行自治会は僅か 32自治体で、発行率 3割（33%）と非常に少なかった。

この調査票（アンケート）データも参考になり、且つ発行の刺激にもなった。

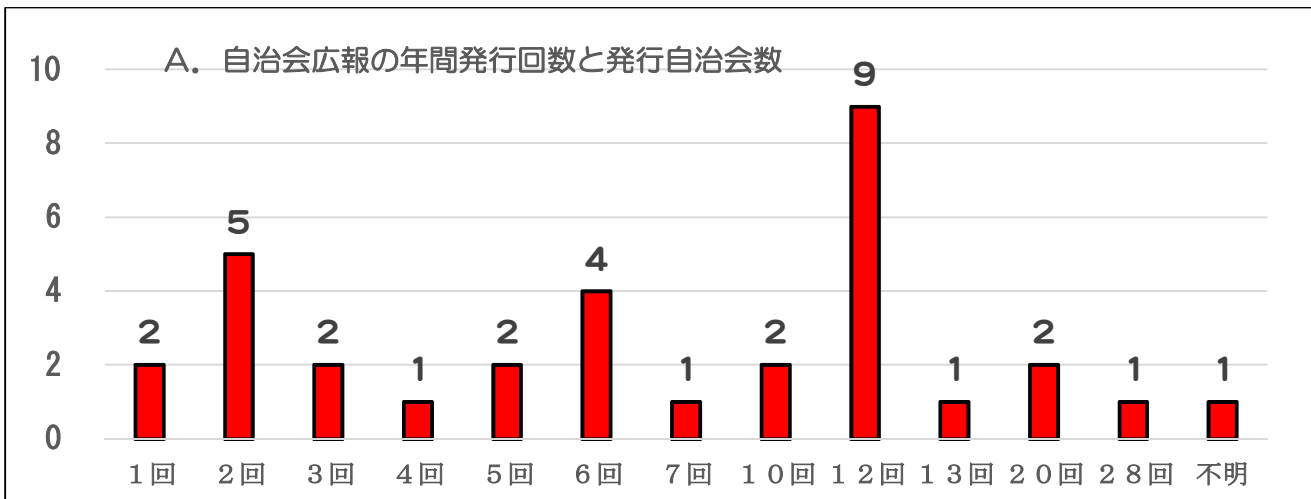
「平成29年度 昭島市自治会連合会 自治会加入状況等調査結果報告」は、同年6月に全自治会長にも配布され、7月には説明会も開催されている。

見たことありますか、また、引き継がれて所属自治会の参考にしていますか。

## I. 調査概要

1. 調査の名称 自治会加入状況等アンケート
2. 目的 自治会の加入促進活動の実態ならびに、自治会退会の原因や課題を調査し、今後自治会の活性化、加入率促進などの取り組みに役立てる。
3. 調査期間 平成29年4月6日～5月11日迄（最終締め切り）
4. 回収率 80%

平成29年度 昭島市自治会連合会 自治会加入状況等調査結果報告の一部



以上

次回は、「自治連ならびに各自治会と「八清親和会」ホームページとの差は何か、何故このようになってしまったのか」について投稿します。